

令和7年度 第2回 矢島郷土資料館企画展

昭和100年記念 写真で回想する矢島の100年史



前期展示期間

令和7年10月3日（金）から
令和7年12月2日（火）まで

昭和100年記念 写真で回想する矢島の100年史

令和8年(2026年)に昭和元年(1926年)から起算して満100年を迎えます。

本企画展は「昭和」という激動の時代を振り返ることで、先人たちの暮らし・文化・歴史の重みを次世代に伝えることを目的とします。

昭和は、戦争・復興・高度経済成長・文化の変革など、日本が大きく変化した時代でした。本展では、昭和時代の矢島の町並み、産業、戦争との関わりなどをテーマに当時の情景を映し出します。

過去を見つめ直すことで、現代をより深く理解し、未来へのヒントを見出すきっかけとなれば幸いです。

羽坂から城内、館町方面



羽坂でゴム靴の販売がはじまったのは昭和25年で、田口誠一郎氏が開業しました。

写真中では通りの右側ですが、現在は通りの左側に移転しています。

道掃除するよい子たち



よい子の部落子ども会による道掃除

(現在の田中町みどり屋前交差点付近)

(昭和38年6月25日 広報やしま 第90号より)

栄町 堀内呉服店付近



写真左側の工藤整骨院は本荘から出張した当初は栄町付近で営業していましたが、後に移転しています。

田中町駐車場前



田中町錦旅館近辺を除雪する重機の様子です。昭和30年代に入ると矢島町にブルドーザーが導入され、冬季除雪が開始されました。

羽後交通矢島営業署



昭和12年から本荘一矢島間で大型バスの運行が始まりました。昭和18年には館町に矢島営業署が置かれ、1日に4便が運行されました。

元町新所周辺



昭和30年代に入ると、町道の整備が進みました。写真は新町の道路整備の様子です。

旧大井医院・旧佐藤家住宅付近



現在の矢島総合支所前での火事用心の活動の写真です。昭和43年は矢島山野で火災が発生しており、タバコ、たき火始末などの火災予防が呼びかけられました。(昭和43年5月25日 広報やしま 第147号より)

矢島町遠景



旧矢島駅舎

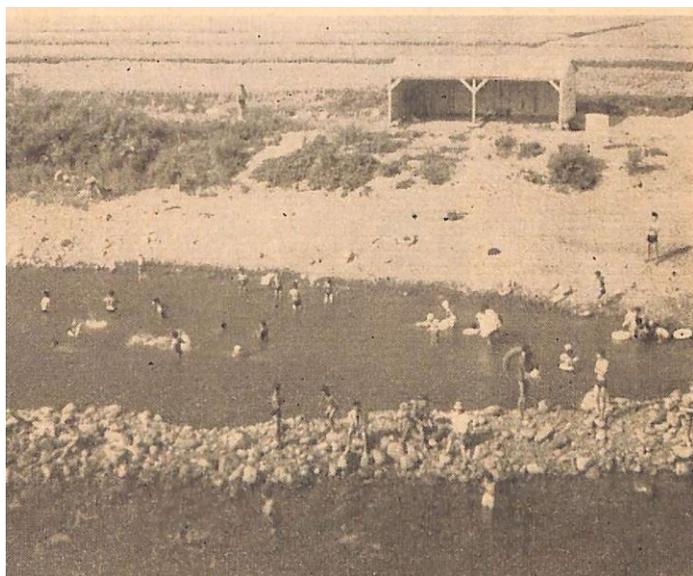


昭和13年に矢島線の開通と共に設置された矢島駅は、平成17年の由利高原鉄道の開業20周年を迎えるにあたり、現在の駅舎に改築されました。

機械化前の田植え風景

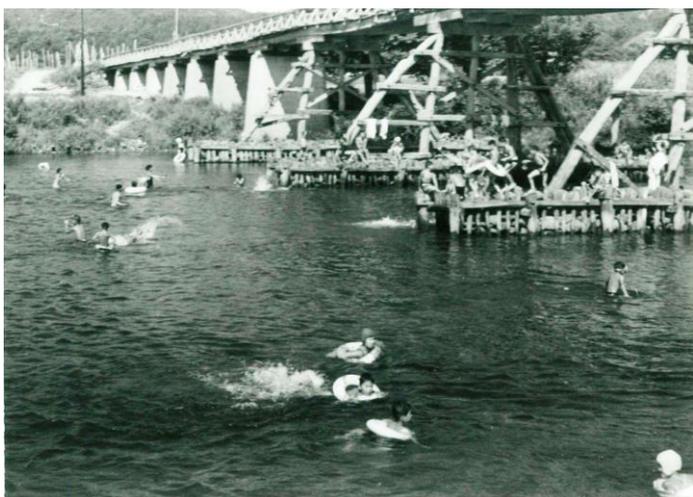


長泥川原の天然プール



昭和49年に小中学生の河川遊泳が禁止される前は、長泥川原、築館川原などにPTAによって天然プールが整備されていました。

立石橋の天然プール



昭和30年頃の立石橋の橋脚付近に整備されたプールです。写真の立石橋は木製でしたが、昭和42年にコンクリートで再建されています。

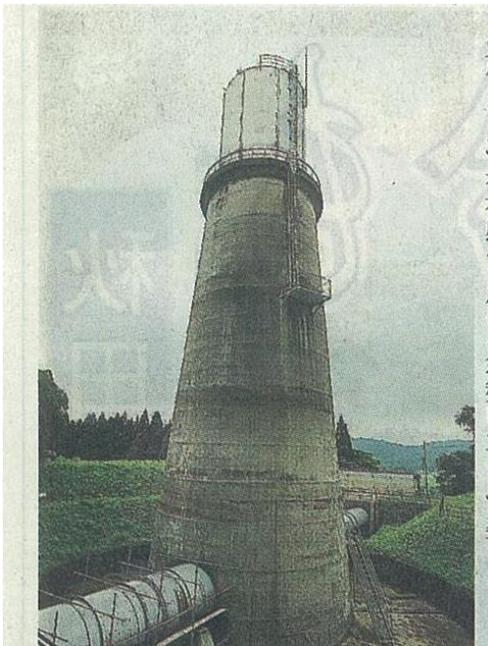
八朔祭り(館町青年会)



矢島木材乾燥株式会社



郷内発電所の開設



郷内発電所は昭和13年12月に東北振興電力KKの事業として着工し、昭和15年12月に竣工しました。鳥海川水系の水を集め、大川端ダムから隧道によって鶯川ダムに導き、その出力は13,200kWと県内有数の規模を誇りました。

やなの設置



子吉川では古くからサケやマス、アユを目的としたやな漁が行われていました。昭和に入るとふ化・養殖が盛んになりました。写真のやなは坂之下に築造されたものです。

森林軌道



昭和14年創設の矢島営林署は、材木輸送のために軌道の敷設を始めました。軌道車による集材は昭和30年代に最盛期を迎えましたが、作業の伐採から植栽への移行、トラック輸送のための林道の開通に伴い、昭和39年に廃止されました。



ダイヤル式黒電話



昭和41年、矢島町のすべての家に電話が設置されました。当時ダイヤル式電話は最新式で、電話交換手なしでの遠距離通話が可能になりました。

矢島電報電話局開設・ 自動電話開通



矢島電報電話局開設時の式典写真です。



矢島電報電話局



昭和41年の創設とともに田中町56番地に事務局が設置されました。

矢島保育所



密贈 大井永吉様 矢島保育所 第一期生

矢島保育所は昭和11年9月20日、矢島町7番地に大井マチ氏により創設されました。昭和51年には新町に第二保育所が設置され、荒沢川の東西を境に入所を振り分けられました。



矢島小学校校舎のうつりかわり

校舎のうつりかわり

明治40年(1907年)ころの校舎の前での卒業写真

大正6年(1917年)ころの校舎の前での卒業写真

昭和2年(1913年)青年団の校舎の前での記念写真

昭和15年(1940年)ころの校舎の前での記念写真

そのころの校門から見た校舎正面

この校舎は明治31年(1898)に建てられました。
 大正7年(1917)5月15日の震害時、この6年生2人がわざと校舎へ火をつけ、瓦葺け下の茅葺のついた建物の屋根を押し崩したため、校舎が半壊しすべて焼けてしまいました。
 学校の校舎がなくなりましたので、
 1年生は 矢島神社
 2年生は 稲城社に校舎を
 3年生は 新田村宮に校舎を
 4年生は 新田村宮に校舎を
 5年生は 矢島稲穂神社
 6年生は 北町一丁目一周辺の分教場
 みんな町中に分かれて、せまいところで勉強しなければならなかった。

校舎が焼けただけで、大正8年(1918)から大正9年(1924)11月までかかって、この校舎が建てられました。
 昭和47年(1972)に今の校舎がコンクリートで建てなおされるまで、約50年間におたって皆さんの勉強の場が校舎です。



寄せ書き日の丸



佐藤正三兵役



相庭幹雄君



行軍の際、 論城で就業兵一同



森琢郎さん 須貝謹作さん
不詳 茂木為治郎さん

学業半ばに出征する 学友



出征の日



連隊長血染めの軍服



戦争慰霊祭

